

ソフィアだより

♪たなばたの かみさんが いたさ こらえて すいか ひときれ♪

フランスには、バカロレアという試験があります。大学への入り口ともいわれるこの試験では、年齢に関係なく受験することができ、78歳の方が挑戦されたこともあるそうです。与えられた問いにじっくりと時間をかけ自分の頭で考え、自分なりの答えを導きだしていきます。そこには一つの正解があるわけではなく、その人らしい考えや価値観が大切にされています。

日本の教育には、基礎を大切にし、コツコツと積み重ねていく良さがありますが、そのうえで、これからの時代は「自分で考えること」「感じること」の大切さがより一層求められているように感じます。また、先日は台風の影響で大雨となり、浸水した地域もありました。私たちは自然の中で生き、時にその大きな力と向き合うこともあります。だからこそ自然を知り、感じ、共に生きていくことの大切さも子どもたちに伝えていきたいと考えます。こうした力は、大人になってから、急に育つものではなく、心も体も柔らかい乳幼児期にこそぐんと伸びていくものです。ソフィア時代の子どもたちは、今まさに、その大切な時期にいます。遊びや体験を通してたくさん感じ、たくさん考える時間を大切にしていきたいと思います。

今月の幼児クラスカリキュラム『ノビシア』では、水をテーマにとりくみます。水は触れると気持ちよく、形を変えたり、浮いたり沈んだりと様々な表情をみせてくれます。身近でありながら不思議にあふれた存在の水。水とたくさんふれあいながら、「どうしてだろう?」「やってみたい」という気持ちを育んでいきたいと思います。楽しむ感性、探求する心、考える力、挑戦する気持ち、そして、人と関わる力、そうした力の種は子どもたち一人ひとりの中にあります。子どもたちのそばにいる私たち大人もその育ちに寄り添いながら、一緒に感じ、一緒に成長していける存在でありたいです。

ソフィア東生駒こども園 園長 中畑 直実

7月